2024 年度 (令和 6 年度)

学校評価自己評価表

加茂

中学校区

校番 39

福山市立

加茂中

学校

最終更新日

2025年(令和7年)1月31日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携、加茂・山野・広瀬での定期的な学習をお願いする。 ・地域と学校がどのように関わっていくのか、引き続き具体的な協議がしたい。また、地域の人材発掘も行う。 ・生徒をしっかり褒めて欲しい。自主的に行動できるよう上手くフォローをしてあげて欲しい。 ・小中9年間を見通し、系統性・継続性のあるふるさと学習の内容を検討していく。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小1小1中という環境にあり、学習面・生活面において、つながりをつくりやすい。 ○問いに対する自分の考えを、文章にしていることに課題がある。 ○友人との関わりや見方が固定化し、互いの新たな可能性や成長に気づきにくい。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力 コミュニケーション力 あきらめない心</p> <p>学びを楽しむ・学びを活かす子ども 夢を語る・自分のことを語る子ども</p> <p>①幼保小中連携 子ども・教職員の交流を通して、幼児期から小中学校までの学びをつなぐ「幼保小・小中・幼保中」連携した教育活動の実践</p> <p>②地域とともにある学校 CSを導入し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図る 地域素材を活用した教育活動の実践</p>
--	---	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <p>加茂中学校で学んでよかった 加茂中学校へ通わせてよかった 加茂中学校で働けてよかった と思える学校</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p>	<p>課題発見・解決力</p> <p>○現状を分析したり、新たに直面した事象を把握するなどして、課題を見出すことができる。</p> <p>○既習の知識・経験や他者の考えなどを、比較したり、関連付けたりしながら、解決への道筋を立てることができる。</p>	<p>コミュニケーション力</p> <p>○さまざまな表現方法で、自身の考えや思いを、自信を持って発信することができる。</p> <p>○他者の考えや思いに傾聴し、多様性を尊重することができる。</p> <p>○協働する中で、新しい価値観に気づいたり、互いに高め合う関係を築いたりすることができる。</p>	<p>あきらめない心</p> <p>○主体的に「やってみよう」という、高い意欲や好奇心を持っている。</p> <p>○仲間とともに、多様な方法を出し合い、試行錯誤しながら、何とかやり切ろうと課題に向き合っている。</p> <p>○最後まで、あきらめない、粘り強さがある。</p>
<p>学校教育目標</p> <p>ともに 学び合い 高め合う</p>	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>疑問が生まれ、多様な学びを楽しめる授業づくり</p> <p>内容等</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びのある授業をつくるための教材研究と授業実践を繰り返す。 ○ 自分の授業を振り返り、見出した課題を解決するためのテーマを各自が設定し、他の教職員と対話・協働しながら探究する。</p>			
<p>現状</p> <p><児童生徒></p> <p>○明るく素直な生徒が多い。挨拶が増えてきている。</p> <p>○課題解決などに向けて、協力したり支え合ったりする姿が見られる。</p> <p>△固定化した人間関係が小学校から出来上がっており、幅広いコミュニケーションが取りにくい。</p> <p>△不登校生徒の割合が高い。特に、新規不登校が増加している。</p> <p>△「基礎・基本」の定着や、思考力・表現力が十分でない。</p> <p><授業></p> <p>○ICT機器の効果的な活用を考え、授業に取り入れている教職員が多い。</p> <p>△教師主体の授業が多く、学びにつながる活動や問いの質を高める必要がある。</p> <p>△ふるさと学習での体験・教科学習・日常生活との間で、つながりを感じたり気づいたりしながら、学びが定着したり思考が深まったりするような授業づくりに取り組む必要がある。</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>生徒達が、ともに学び合い、高め合うことで、「?(なぜ・どうして)」が、「!(わかった・できた・なるほど)」になる授業 教師も生徒も、「おもしろい」と感じられる授業</p>			

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

Main table with columns for Year (年目), Mid-term Goals (中期経営目標), Key Points (重点), Classification (分類), Short-term Goals (短期経営目標), Target Achievement (目標達成に向けた取組), Evaluation Indicators (評価指標), Intermediate Evaluation (10月1日), and Final Evaluation (2月末). It is divided into three sections: Fuyun City (福山市立), Kashiwa (加茂中), and School (学校).

[プロセス評価の評価基準]

Table with 2 columns: 評点 (Score) and 評価基準 (Evaluation Criteria). Rows show scores from 5 to 1 based on the degree of common understanding and goal achievement.

[達成評価の評価基準]

Table with 2 columns: 評点 (Score) and 評価基準 (Evaluation Criteria). Rows show scores from 5 to 1 based on the extent of goal achievement and results.

[総合評価の評価基準]

Table with 2 columns: 評点 (Score) and 評価基準 (Evaluation Criteria). Rows show scores from 5 to 1 based on the overall achievement rate and goal attainment.